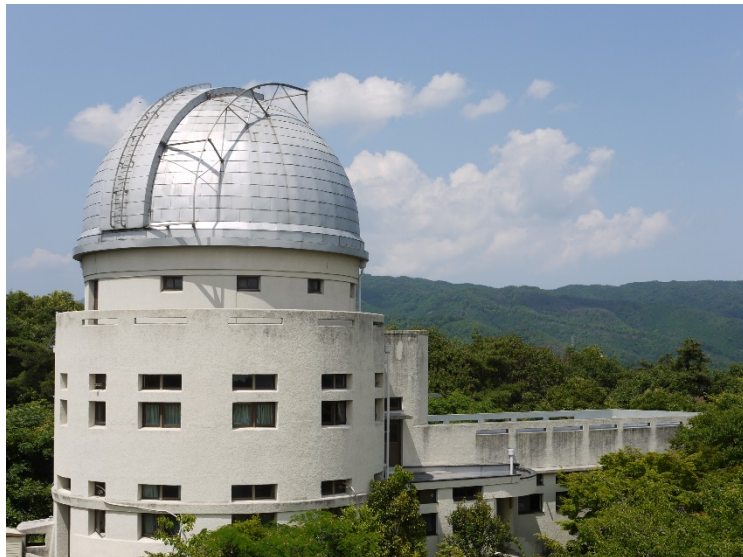


【山科区】日本天文学の礎を築いた天文台
京都大学花山天文台の特別公開ツアー

定員：20名



京都大学 花山天文台

東山連峰の山中、山科の街並みを見下ろす山頂にある京都大学花山天文台は、昭和4年（1929年）、日本で2番目に設立された大学天文台で、90年の歴史を持っています。大正から昭和の洋式建築として、施設建造物や望遠鏡に博物的価値がありながら、現在も最新天文学の研究の場として太陽観測が続けられています。今回は、京都大学理学研究科の柴田一成教授のご協力を得て、特別公開が実現します。

行程

※行程は予告なしに変更することがあります

- 13:00（集合） 京都駅八条口 貸切バス乗降場 =====貸切バス=====
- 13:25 - 15:30 京都大学花山天文台 見学 =====貸切バス=====
- 16:00（解散） 京都駅

京都大学花山天文台：「アマチュア天文学の聖地」の愛称で親しまれ、日本天文学の礎を築いた天文台。直径9mのドーム内に、屈折式としては日本で3番目の大きさを誇る口径45cmの望遠鏡を備える「本館」のほか、子午線館として天文台の開設当初から存在し、現在は天文台の歴史資料や観測資料などを展示する「歴史館」などを見学できる。通常非公開。



現役としては日本最古の望遠鏡「ザートリウス18cm屈折望遠鏡」



全景